

日本の昔ながらの田舎の風景は、どんなものだったのだろうと想像したことがある方にとって、この小さな公園は、時間を遡ることができるうってつけの場所です。曲がりくねる姫川の両岸沿い、5.9ヘクタールの敷地に広がるこちらの公園は、白馬八方尾根の歴史的な風景を保存する目的で、2006年に完成しました。

この地域の豊かな自然を楽しみながら、地元の人々と彼らの深い文化について学びましょう。小さな小道を進んだ先にある絶景を見渡せる園内の展望台からは、特に桜の季節には絵に描いたような美しい風景をご覧頂けますが、日本北アルプスの白馬三山、姫川、木製の吊り橋、またわらぶき屋根の家々など息を呑む風景が年中楽しめます。画家の間でも非常に有名なので、作品を描いている場面に出会うこともあるかもしれません。

小さな吊り橋を渡る前に、吊橋茶屋で軽食と飲み物を買ってみてはいかがでしょうか。またはもう少し先へ進むと、かっぱ亭という喫茶店もあります。こちらは築100年の建物の中にあり、入り口のそばには小さな水車が回っています。こちらの店では、白馬の豚肉や長野の信州サーモンなど、地元の特産品を使った料理を堪能できます。(かっぱ亭の営業は5月から10月の間です)